



## 2021年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月13日

上場会社名 株式会社MORESCO 上場取引所 東  
 コード番号 5018 URL <http://www.moresco.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 赤田 民生  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 (氏名) 藤本 博文 TEL 078-303-9010  
 四半期報告書提出予定日 2021年1月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年2月期第3四半期の連結業績（2020年3月1日～2020年11月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第3四半期	17,968	△12.1	641	△40.7	656	△45.8	303	△49.9
2020年2月期第3四半期	20,445	△6.3	1,080	△39.7	1,210	△38.0	605	△53.3

(注) 包括利益 2021年2月期第3四半期 90百万円 (△83.0%) 2020年2月期第3四半期 533百万円 (△49.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年2月期第3四半期	31.57	—
2020年2月期第3四半期	63.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年2月期第3四半期	26,676	17,814	58.7	1,629.43
2020年2月期	28,129	18,209	56.6	1,659.74

(参考) 自己資本 2021年2月期第3四半期 15,646百万円 2020年2月期 15,931百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年2月期	—	15.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	25.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年2月期の連結業績予想（2020年3月1日～2021年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△11.3	650	△49.2	750	△52.2	300	△61.4	31.34

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は2021年1月13日開催の取締役会において、自己株式の取得について決議いたしました。連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、当該自己株式の取得の影響を考慮しております。なお、当該自己株式の取得については、本日（2021年1月13日）公表いたしました「自己株式の取得および自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年2月期3Q	9,696,500株	2020年2月期	9,696,500株
② 期末自己株式数	2021年2月期3Q	94,070株	2020年2月期	97,958株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年2月期3Q	9,602,409株	2020年2月期3Q	9,595,034株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

業績予想は本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれております。実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

2021年1月19日に当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
経営成績に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表および主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(追加情報)	6
(セグメント情報)	6
3. 補足情報	7
(1) 製品およびサービスに関する情報	7
(2) 海外売上高	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症が世界的に蔓延する状況が今なお継続する中、各国では経済の立て直しが図られています。当社グループ売上の約4割を占める自動車市場においても、日本や中国等の国、地域での生産が回復局面を迎えています。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結経営成績は、売上高は17,968百万円（前年同期比12.1%減）、営業利益は641百万円（前年同期比40.7%減）、経常利益は656百万円（前年同期比45.8%減）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は303百万円（前年同期比49.9%減）となりました。未だ前年同期比減での進捗ではありますが、当第3四半期の3か月間においては、利益は前年同期を上回る水準にまで回復しております。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりです。

#### ①日本

##### （特殊潤滑油）

足元では回復傾向にはあるものの、自動車生産台数が前年同期比20.0%減少で推移する中、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。

##### （合成潤滑油）

顧客での生産調整等の影響を受け、ハードディスク表面潤滑剤および高温用潤滑油はともに減収となりました。

##### （素材）

流動パラフィン、リチウムイオンバッテリー用途およびポリスチレン可塑剤用途での出荷は顧客での生産調整により、また化粧品用途での出荷はインバウンド消費の減少および外出自粛の影響を受け減収となりました。金属加工油の添加剤として使用されるスルホネートは、上述の特殊潤滑油と同様に減収となりました。

##### （ホットメルト接着剤）

主力の衛生材用途での出荷は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。粘着用途での出荷もまた、宅配便需要増加に伴う荷札シール需要の増加等により堅調に推移しました。一方で、自動車内装関連用途での出荷は減収となりました。

##### （エネルギーデバイス材料）

有機EL用封止材は台湾向け出荷が好調に推移したことにより増収となりましたが、ガス・水蒸気透過度測定装置は顧客での設備投資の延期等により減収となりました。

以上の結果、当セグメントの売上高は13,484百万円（前年同期比13.0%減）となり、セグメント利益は381百万円（前年同期比52.7%減）となりました。

#### ②中国

第2四半期以降は前年同期比増で推移するものの、第1四半期での経済封鎖の影響を受け、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は累計では減収となりました。ホットメルト接着剤は、フィルター用途での出荷が大幅に増加し、増収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は2,269百万円（前年同期比1.4%増）にとどまりましたが、原価低減および販管費の抑制によりセグメント利益は215百万円（前年同期比79.9%増）となりました。

#### ③東南／南アジア

当社グループの事業拠点が所在する国における自動車生産台数が前年同期比40.3%減少で推移する中、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は大幅な減収となりました。一方、ホットメルト接着剤の売上は堅調に推移し、前年同期並みの実績となりました。一昨年7月に竣工したインド子会社においては、昨年1月より現地生産品の販売を開始したところですが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、活動は停滞を余儀なくされています。

この結果、当セグメントの売上高は2,684百万円（前年同期比19.0%減）となり、セグメント利益は3百万円（前年同期比97.3%減）となりました。

#### ④北米

自動車生産台数が前年同期比25.9%減少で推移する中で、ダイカスト用油剤等特殊潤滑油は減収となりました。

この結果、当セグメントの売上高は460百万円（前年同期比18.9%減）となりましたが、高付加価値品の売上構成比率の上昇および販管費の抑制によりセグメント利益は40百万円（前年同期は6百万円のセグメント損失）となりました。

## 2. 四半期連結財務諸表および主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,576	3,350
受取手形及び売掛金	6,720	6,344
商品及び製品	2,714	2,663
原材料及び貯蔵品	2,065	1,777
その他	383	387
貸倒引当金	△23	△22
流動資産合計	15,436	14,499
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,791	3,581
機械装置及び運搬具(純額)	2,085	1,808
土地	2,428	2,419
その他(純額)	730	711
有形固定資産合計	9,034	8,519
無形固定資産		
のれん	474	379
その他	572	475
無形固定資産合計	1,046	853
投資その他の資産	2,613	2,805
固定資産合計	12,693	12,177
資産合計	28,129	26,676
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,072	3,538
短期借入金	2,341	2,231
未払法人税等	161	166
賞与引当金	440	239
その他	1,049	1,208
流動負債合計	8,063	7,383
固定負債		
長期借入金	1,244	890
退職給付に係る負債	457	472
その他	155	117
固定負債合計	1,856	1,479
負債合計	9,919	8,862
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,118	2,118
資本剰余金	1,979	1,976
利益剰余金	11,998	11,917
自己株式	△157	△146
株主資本合計	15,939	15,866
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	15	11
為替換算調整勘定	△10	△231
退職給付に係る調整累計額	△13	0
その他の包括利益累計額合計	△7	△219
非支配株主持分	2,278	2,168
純資産合計	18,209	17,814
負債純資産合計	28,129	26,676

## (2) 四半期連結損益計算書および四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
売上高	20,445	17,968
売上原価	13,833	12,155
売上総利益	6,612	5,813
販売費及び一般管理費	5,531	5,172
営業利益	1,080	641
営業外収益		
受取利息	12	18
受取配当金	10	11
持分法による投資利益	142	138
その他	61	37
営業外収益合計	226	204
営業外費用		
支払利息	12	11
為替差損	79	159
その他	6	20
営業外費用合計	97	190
経常利益	1,210	656
特別損失		
減損損失	—	20
特別損失合計	—	20
税金等調整前四半期純利益	1,210	636
法人税、住民税及び事業税	482	323
法人税等調整額	△44	△86
法人税等合計	438	237
四半期純利益	772	399
非支配株主に帰属する四半期純利益	167	96
親会社株主に帰属する四半期純利益	605	303

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)
四半期純利益	772	399
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9	△4
為替換算調整勘定	△216	△314
退職給付に係る調整額	10	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△25	△4
その他の包括利益合計	△239	△309
四半期包括利益	533	90
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401	91
非支配株主に係る四半期包括利益	132	△1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、繰延税金資産の回収可能性や固定資産の減損会計等の会計上の見積りについて、四半期連結財務諸表作成時に入手可能な情報に基づき実施しております。新型コロナウイルスの影響につきましては、今後一定期間続くものの緩やかに改善するとの仮定のもと会計上の見積りを行っております。しかしながら、新型コロナウイルスによる影響は不確定要素が多く、収束時期および経済環境への影響が変化した場合には、当社グループの財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年11月30日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	14,517	2,080	3,296	552	20,445	—	20,445
セグメント間の内部 売上高又は振替高	976	159	17	16	1,168	△1,168	—
計	15,493	2,239	3,313	567	21,612	△1,168	20,445
セグメント利益又は損 失(△)	806	120	113	△6	1,033	48	1,080

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額48百万円には、セグメント間取引消去53百万円、たな卸資産の調整額△5百万円および貸倒引当金の調整額0百万円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	中国	東南/南アジア	北米	計		
売上高							
外部顧客への売上高	12,807	2,042	2,667	452	17,968	—	17,968
セグメント間の内部 売上高又は振替高	677	227	16	8	928	△928	—
計	13,484	2,269	2,684	460	18,896	△928	17,968
セグメント利益	381	215	3	40	640	2	641

(注) 1. セグメント利益の調整額2百万円には、セグメント間取引消去10百万円、たな卸資産の調整額△8百万円および貸倒引当金の調整額△0百万円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。



## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「日本」セグメントにおいて、将来使用見込みのない固定資産の減損損失20百万円を計上しております。

## 3. 補足情報

## (1) 製品およびサービスに関する情報

当第3四半期連結累計期間（自2020年3月1日至2020年11月30日）

外部顧客への売上高	金額（百万円）	前年四半期比（％）
化学品事業	17,928	87.9%
特殊潤滑油	7,617	80.0%
合成潤滑油	1,428	86.8%
素材	2,514	88.9%
ホットメルト接着剤	5,058	97.9%
エネルギーデバイス材料	79	71.5%
その他	1,232	109.0%
賃貸ビル事業	40	100.0%
合計	17,968	87.9%

## (2) 海外売上高

当第3四半期連結累計期間（自2020年3月1日至2020年11月30日）

	アジア	北米	その他の地域	計
I. 海外売上高（百万円）	5,759	525	72	6,355
II. 連結売上高（百万円）				17,968
III. 連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	32.0%	2.9%	0.4%	35.4%

(注) 1. 地域区分は、地理的近接度により区分しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア……………中国、インドネシア、タイ、シンガポール

北米……………米国、メキシコ

その他……………オーストラリア

3. 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。